

# 8/12 夏祭り風献立

祭りの起源は紀元前、神話の時代に日本が生まれ神様が住み始めた頃の話。太陽の神**天照大神(アマテラスオオミカミ)**は、訪ねてきた弟の**素戔嗚尊(スサノオノミコト)**がはしゃいで家屋を壊したり、暴れたりするのを恐れ、天の岩戸に隠れました。太陽の神が隠れてしまった世界は暗闇に包まれ、いろんな災害が起こります。そこで、また光を取り戻すために天照大神をなんとか出て来させようと踊りの名手である**天鈿女命(アメノウズメ)**がお尻を使って踊らせました。これには他の神様も大笑い。その後みんなで踊り出します。そんな楽しそうな様子に天照大神も興味津々に覗き込んできたので、この世界は光を取り戻すことができました。この物語は神社の祭りの起源といわれる「**天の岩戸隠れ**」のエピソードで、日本最古の歴史書「古事記」に記されています。この出来事以来、神社や寺院での祭りが儀礼として現在まで引き継がれているようです。



夏祭りでは定番の焼き鳥とたこ焼きを献立とした昼食を準備しました！

**夏祭り風献立**

焼き鳥風ご飯  
揚げたこ焼き  
吸い物(むきえび)  
フルーツポンチ

令和3年8月12日(木)  
おおつかの郷 栄養科